

協働のまちづくりに向けた「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月9日（木）午後7時～午後8時50分
□会 場	宮津公民館
□参加者	町側11人、地区側31人

1. あいさつ（町長）

同趣旨のため省略（英比小学校体育館参照）

2. 「住民税1%町民予算枠」制度 について説明（政策協働課長）

わくわくアイデア事業について・わくわくコラボ事業について
制度の概要説明及び募集要項に沿った各事業の説明及び町制60
周年記念事業を説明。

3. 地区からの提言・質問事項についての主旨要約

質問① 横松地区北側の山崩れ防止工事の進捗状況はどうなっていますか。（横松）

答）阿久比町としては、横松地区北側の治山事業については、愛知県に対して、毎年事業実施を要望しており、断続的に工事が実施され、現在7割程完了しています。事業主体である愛知県においては、毎年、要望の出された地区の状況を調査のうえ、緊急性の高い地区から順次実施しているとのことですので、ご理解くださるようお願いいたします。

なお、最近では、平成21年度に降雨により既設のよう壁の上部の法面が崩落したため、復旧工事が実施されています。

民有地の工事を行う場合は、土地の使用承諾書が必要となります。

（建設経済部長）

質問② 防犯灯に加えて、防犯カメラを各所に設置して欲しい。（横松）

答）防犯灯の新設については、毎年第1回行政協力委員会で「防犯灯の新設について」の申請書の提出をお願いしています。また、より次第実施させていただきます。しかし、必ずしも全てを設置できる訳ではありませんので、ご理解下さい。

また、防犯カメラにつきましては、町の実施計画でも、防犯体制の強化として防犯カメラの設置を主要事業の一つとしており、町民を見守るとともに、街頭犯罪を未然に防止することを目的として、今後も順次増やしていきます。（建設経済部長）

関連質問） 昨年、宮津にいたちだ・さるこ・宮津公園に防犯カメラを付けていただきました。その後、一度トイレのガラスを割られたが防犯カメラの画像データを見

せてもらうことはできますか。(宮津)

答) 警察からの捜査依頼があれば警察へ提出するが、それ以外はお見せできません。
(総務部長)

関連質問) 防犯カメラの位置から何か映っていると思うが、警察に対して何か閲覧するための手続はありますか。(宮津)

答) そういう場合は、警察へ被害届を出してもらえば警察が画像データを入手して捜査をしてもらえると思いますので、そういった手段をとってください。
(総務部長)

関連質問) 防犯灯の付く条件として電柱や既設の柱等が必要ということですが、本来にほしい場所にはポールを立てても付けたほうが良いと思いますが、町では予算がないということでした。そういった場合、付けられる場所は限定されてしまうが、どのようにお考えですか。(横松)

答) 防犯灯の設置には新設基準があり、取り付けできる電柱があることが第一条件になっています。その他に、その場所が非常に危険かどうか判断させてもらいます。(総務部長)

関連質問) 取り付けできるポール等がなくても、町が非常に危険な場所と判断した場合は、防犯灯を設置してもらえていると考えていいか。(横松)

答) 取り付けできる電柱があることが第一条件です。(総務部長)

関連質問) ここはほしいというところに防犯灯があればいいのですが、その条件だと付かないと考えればいいのですか。(横松)

答) 地元でポールを立ててもらえれば、検討させてもらいます。(総務部長)

要望) 環状線のところで暗くて寂しい場所もあり横松としてどうしてもほしい場所もあるので、区長を通して要望していきます。(横松)

答) 第1回の行政協力員会で防犯灯新設の用紙をお渡ししていますので、区長や自治会長を通して防災交通課へ申請してください。(総務部長)

質問③ 月見ヶ岡線の路側へのゴミ不法投棄を監視要請します。(横松)

答) 町としては、土地の管理は、その土地の所有者が管理するべきものと考えてい

ます。よって、本来不法投棄をされないように、土地所有者が対抗措置をしなければなりません。

町としての対策としては、環境監視員によるパトロール、広報等により啓発や立て看板を設置するなどを行っています。

最近では、半田のボランティアの方もごみ拾いをしてれています。

(建設経済部長)

関連質問) ごみを捨てているほとんどの人が半田の人と思われる。見るに見かねて乙川の人がボランティアで年末のごみ拾いをしたが200キロのごみがあった。横松の人が捨てているとは思えないので、町から半田市へどのくらいごみを捨てないように呼びかけをしているか教えてほしい。(横松)

回答) ボランティアの人が拾ったごみは、町で分別して処理をしました。基本的にごみの処理は、ごみの捨てられている土地所有者と町が管理することとなります。

(建設経済部長)

関連質問) ごみを捨てないように町から半田市にどのように話をしているか教えてほしい。(横松)

回答) 基本的にごみはその町で処理することが原則となっています。

(建設経済部長)

関連質問) ごみを捨てられないように、何か改善する方法はありませんか。(横松)

回答) ごみを置かれたところが処理をするのが原則でやっていますので、置かれなないようにする対策はやっていません。(建設経済部長)

質問④ 環状線の早期開通を要望します。(横松)

答) 環状線の問題については、町としても特に重要な道路として認識しており、県道体系として整備をお願いする旨、愛知県に対して機会あるごとに要望、陳情をしています。

今後も、継続して陳情等をしてまいりますので、ご理解を頂きたいと思います。

また、島田橋の歩行者・自転車専用橋の増設等の整備に関しては、考えておりません。(建設経済部長)

質問⑤ 災害時のライフライン確保のため配水管口径を大きくしてほしい。(横松)

答) 八ヶ谷配水場からの横松地区への配水管は、県道南粕谷半田線の「萩交差点」からφ75mmの口径となっています。

平成25年度には、「萩交差点」から「環状線交差点」の手前、延長450mの西側でφ150mm耐震管を布設する計画で、平成27年度までには、「横松遊園地」西交差点までをφ150mmを布設する予定です。

板山配水場からの自然流化方式では、φ150mmの配管が必要となりますので、「横松遊園地」西交差点までをφ150mmが布設できるまでは、八ヶ谷配水場からの増圧配水を利用することになります。

しかし、配水管の口径は、各家庭が日常生活をするために、蛇口の水圧が1kg/m²確保されることを基準に決定していますので、非常時の利用を想定した口径は考えていません。(建設経済部長)

質問⑥ 町全体の事業「みんなの菊花展」をもっとPRして町内外の人を呼び込みましょう。(宮津)

答) 阿久比町みんなの菊花展は、昭和55年から開催されており、今年は第34回を数える、阿久比町の一大イベントです。約3千鉢の菊が咲きそろい、平成24年度には、町内外の約6千名の方に楽しんでいただいています。

平成24年度からは、事業の所管を産業観光課に移して、町制60周年記念事業等、町の重要な観光資源のPRをして、集客を図っております。(建設経済部長)

要望) 平成24年4月に産業観光課が発足しましたが、菊花展はまだ町外の人特に5市4町の人には知られておらずPR不足と感じます。文化祭やホテルも同様です。もっと、阿久比町の環境資源を町外へPRしてほしい。(宮津)

答) 菊花展の所管課を産業観光課にしたのも町外へPRする狙いがあります。また、産業観光課は、観光協会を所管しておりますので町外の方が阿久比町へ来訪していただけるようにイベントのPRをしていきます。(建設経済部長)

質問⑦ 要介護者の増大に伴う介護施設の不足について伺います。(宮津)

答) 現在、阿久比町には、特別養護老人ホームとして「一期一会荘」(定員80名)があります。

こうした特別養護老人ホームの整備計画は、3か年ごとに愛知県が策定する「知多半島圏域における介護保険施設等の整備計画」(平成24~26年度)に基づいて整備されます。

この「知多半島圏域における介護保険施設等の整備計画」では、平成25年4月に東海市に特別養護老人ホーム「東海清涼苑」(定員100名)が開設されました。また、半田市では平成27年4月に同規模の特別養護老人ホームを開設する予定となっております。

5市5町の知多圏域内にある施設は、相互利用が可能となっておりますので、利用を希望される方には、広く情報提供を行っておりますのでよろしくお願いします。

(民生部長)

関連質問) 阿久比町には、公的・民間など複数の施設がありますが、なかなか入居できずに順番待ちと聞いていますがどうなっていますか。介護老人福祉施設・介護老人保険施設・グループホーム・小規模多機能施設などに入所するための費用や個人負担について教えてほしい。(宮津)

答) 介護保険の適用になれば1割負担で利用できます。別に食事代や部屋代等も必要になります。

いくつかの施設に確認したところ、例えばメディコ阿久比などは、すぐにはと言えませんがしばらくすれば入所できるとのことです。その他の施設でも若干空きがあるとのことでしたので、介護認定を受けたら入所申し込みを速やかに行ってください。(民生部長)

関連質問) 一期一会荘は、定員80名のところ100~200名待ちのため、町担当者の話では、20~30名規模の小規模施設を順次作っていくと聞きました。その施設の入所方法についてですが、2ヶ月なら2ヶ月限定で入所できるのか、そこが駄目だったら次の施設になるのか。一番懸念するところは、介護保険が切れるたびに次の施設次の施設へと患者の立場を考えるのではなく、施設が国からの補助を受けられないため全額本人負担できなければたら回りにされると聞いたがどうなっていますか。(宮津)

答) 一期一会荘の入所待ちが300名ということですが、特別養護老人ホームの場合、個人で阿久比の方であれば阿久比の施設だけ申し込みをしているのではなく、他市町の施設にも申し込んでいる。そのため、実際の待ちの人数は1/3どころか数十名ということ。特養に入所する場合は、知多半島全ての施設に入所できるため複数の施設に申し込みをしてください。(民生部長)

質問⑧ 堂道橋付近の交通安全対策を要望します。(宮津)

答) この町道1019号線は、宮津特定土地区画整理事業で幅員6mの道路になりました。現地を確認したところ、車のすれ違いは十分できる緩いカーブの区間でありますので、今後、調査し、「スピード落とせ」「カーブ注意」等の知らせる標識、反射板等を検討していきます。

また、交通安全対策としては、カーブミラーの設置が有効と考えられますので、宮津地区よりカーブミラーの設置の要望書の提出をお願いします。(建設経済部長)

4. 参加者との懇談

《町制全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 宮津では、ボランティア団体が色々なことを考えようとしているため、勉強

会を行いと考えている。町に出前講座として有識者や講師等を要請することはできますか。また、その時の費用はどうなりますか。(宮津)

答) 町の職員で対応できれば町の職員が出向きますし、また県の事業として講師派遣の仕組みがありますので、そのメニューにあったものがあれば依頼することもできると思っていますので、どういう勉強会を行いたいのか、どういう講師を望んでいるのか相談してください。(政策協働課長)

提言) 現在、阿久比町では町民レクリエーション大会を開催しているが、もっと学区の絆を深めるために、町内の4つの学区対抗の競技を行ってほしい。(宮津)

答) 町民レクリエーション大会は、町から体育協会に委託して開催しています。この体育協会の組織の中には各学区の委員もいます。今回の提言を体育協会の会長を通じて体育協会の会議で話し合ってもらうようにします。学区ごとに人数も違いますので、そのことも含めて検討していきます。(教育部長)

質問) 蟹田川の川底に堆積した土砂を県に取ってもらうための申請方法や手続方法を教えてほしい。(宮津)

答) 県の河川課によると川底を浚渫しすぎると水漏れの原因となる恐れがあるということもありますが、蟹田川については町からも県へお願いしていきます。
(建設経済部長)

提言) 最近アグピーのピンバッジを購入しようとしたが、一般販売は終了したということではがっかりした。アグピーのピンバッジもいいが、阿久比町にはホタル、菊、花かつみやれんげ米もあるので、このピンバッジまでお金を掛けなくてもいいので、何かピンバッジのようなものを作ってはどうか。色々な会議等に行く機会があるが、ピンバッジについて結構話題になるので、阿久比町のPRにつながると思う。(宮津)

答) アグピーのピンバッジは、販売していると思いますので一度担当に確認します。
(町長)

質問) 宮津では、防犯パトロールを月2回午後7時～午後8時の間で行っている。最近目立ってきたのが、宮津区画整理地内の広い道路の青空駐車。緊急車両の通行の妨げにもなるので懸念している。何か良い対策はありませんか。(宮津)

答) 場所を確認させていただいて、防災交通課の担当から警察に相談させていただきます。(総務部長)

質問) 英比川の除塵機に上流から流れてくる土砂が沈殿槽に堆積している。以前、

土砂を取ってもらうため町へお願いした時は、県へ連絡するとのことでした。なかなか取ってもらえなかったが、再三お願いして60㎡取ってもらえた。しかし、全て取りきったわけではなく、県ではもう予算がないとのことでした。町と県とのやり取りはどうなっているのですか。町の職員は、現場を見に行ったのですか。(横松)

答) 土砂の撤去は、県が管理して県の予算で行うこととなっているため、町からは今後もお願ひしていきます。町の職員が見に行ったかどうかは承知していません。(建設経済部長)

質問) たちだ公園内に小さな木が植えてあったが、草刈する時に大変になるがどうして植えたのか。(宮津)

答) 公園内の緑地が少ないという県からの指導があったため、区画整理組合の費用で植えました。(宮津区画整理組合)

提言) 阿久比町の観光PRをするために写真入のカレンダーを作ってはどうか。宮津にもたくさん良いところがありますので、宮津だけで作って町内に配りたい。(宮津)

答) 大変いいアイデアなので、観光協会に伝えます。住民税1%町民予算枠事業もありますので、ご検討ください。(建設経済部長)

閉会のあいさつ)

各地区それぞれの困りごとや不安材料を聞かせてもらいましたが、その中で特に河川の問題がありました。阿久比町の致命的な問題ですが、阿久比川が天井川となっており、この阿久比川に入らない水は、十ヶ川と英比川が持っています。それに対する河川の成形学を県は作っています。その中で、県と町の認識の違いがあります。県は、数値的に見ると1時間当り50ミリの雨に対応していると言います。しかし、町としては満潮時や水門を閉めたときの十ヶ川の水位の上昇率が高いことを県の河川課に説明しているが理解してもらえない。これに関しては、知事にも伝え陳情している。

矢勝川上流の半田池についても、阿久比川水系を守るために阿久比町が幹事となって半田市・常滑市・愛知県と「半田池に関する打合せ会」を立ち上げました。今後、半田池を利水から治水としての機能を持たせる提案をしていく。このことについても、知事へ陳情していく。

東部学区に一番の問題は、これから子どもが増えていくため交通安全対策だと考えている。今後、通学路等の問題や抜け道として使われていくことなどを考えていかなければならない。

地元のことについては町も知らないことが多いので、お気付きの点がありましたら区長を通して教えていただければ対応していきたい。(町長)